

第 1 回江差町再生可能エネルギーゾーニング検討協議会

議事要旨

日 時：令和 5 年 9 月 11 日（月）13 時 30 分～15 時 30 分

会 場：江差町保健センター（役場庁舎 1 階）

議 事

- （1）江差町再生可能エネルギーゾーニング検討協議会について
- （2）地球温暖化対策としての再エネ導入の背景と再エネによる地域振興、江差町における再エネ導入に向けた取組

- （3）再生可能エネルギーゾーニングの概要

〈質疑応答〉

A 委員）①観光資源としての風力発電機の活用という認識は今までなかった。今後、観光資源としての活用方法に対して議論できればと考える。

②観光協会としては、江差町の景観は大きなポイントであると考ええる。

B 委員）①第 1 回協議会から 2 月のゾーニングマップ選定と期日があまりにも短いと感じる。

限られた時間の中で真剣な論議が必要だと感じる。

②漁業関係についてゾーニングの中で協議する必要があると感じた。洋上風力の稼働のみならず、洋上風力発電機建設に伴う、海上での土木工事による影響を加味したゾーニングに対する議論が必要だと考える。

③今回の資料からは、洋上風力発電機による騒音、低周波音の影響が抜けているように感じる。洋上風力発電機が住宅に与える影響は、実際のデータを加味して議論する必要があると考える。

- （4）総合討論・意見交換

〈質疑応答〉

C 委員）洋上風力発電に対する漁協の立場としては、地盤や水温等の調査については構わないとしている。調査結果を踏まえ、漁業者にとってもよい場所があれば建てたいと考える。漁業者、漁協、行政が官民一体となり情報共有しながら取り組んでいきたい。

D 委員）森林所有者にとって、風力発電機を建てるか森林整備事業を続けるのかどちらが良いかの議論になるため、ゾーニング部会ではしっかり意見を述べ慎重に議論していきたい。

E 委員）風力発電事業による経済効果は大きいと考えている。工事関係者が入ってきた場合、宿が足りないなどの問題もある。どれだけ江差町内の企業で入っていけるかを議論していきたい。

F 委員）①風力発電事業において地元でも可能な作業であれば地元調達として、持続的に介入でき

るやり方としてほしい。メンテナンスを考えたとき、江差港は重要な位置づけになると考えており、メンテナンス施設等についても考えてほしい。

②ゾーニングについては事務局が情報収集、作成を行っていくと思うが、町側も積極的に入っていきより良いゾーニングとしてほしい。

G委員) ①温室効果ガスの削減に向けて住民がどう行動し、どう削減していくべきか示唆してほしい。また、削減の対象も示してほしい。

②低周波の影響について教えてほしい。

H委員) ①再生可能エネルギーについて関係者が議論する場を設けるというのはいい機会になると思う。

②協議会には関係者及び、住民が入っているため、会の決定は町としての総意になると考える。会の決定を一般の町民に説明、意見を聞く機会を設けた方がよいのではないかと考える。

I委員) ①景観資源を保全するだけでなく、創造していくことも考えられる。観光資源としての景観だけでなく、日常的な暮らしや、産業活動の風景である文化的な景観が人を呼ぶことも可能である。

②景観の調査地点については、観光客に対する景観だけでなく地域住民が大切にしている景観を拾い上げる必要がある。夕日のポイント、鷗島は重要だと考えるが、海側だけでなく、内陸側のポイントも拾い上げる必要がある。そのためにも委員からの意見をだしていただき、地点に加える必要があると考える。

③懸念事項として洋上風力を取り上げているが、陸上風力にも同様のことが考えられるため、江差町全体で考えていく必要がある。

(5) 今後のスケジュール

次回専門部会の開催について10月16日午後を予定。